

ICTを活用した新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる授業展開例

5年	主題名	責任ある行動のために	内容項目	A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任
	教材名	〇〇パン屋終わり	出典	自作教材(参考:京都市発行 四コマ漫画)
	学習のねらい	「〇〇パン屋終わりです」を見たときの「私」の思いを考えるを通して, 相手や周りのことを考え, 適切に判断し, 責任ある行動ができるようにしようとする態度を養う。		
	本時の評価(評価方法)	相手や周りのことを考え, 適切に判断し, 責任ある行動ができるようにしようとしている。(タブレット<ワークシート>, 発言)		
	学習活動(○発問/◎中心発問)	支援(●), 留意点(○) タブレット活用(T)	児童の主な反応(●)	
導入	1 本時のねらいを確認する。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止について, 問題になっていることは何ですか。	T 京都市が発行している四コマ漫画を提示し, 様々な問題に気づくことができるようにする。 ○本時の めあて を板書する。	● 治療薬がないこと。 ● 差別などの人権問題が起こっていること。	
展開前段	2 教材「〇〇パン屋終わり」を通してねらいとする道徳的価値について考える。 ○私はどんな気持ちで「〇〇パン屋終わり」と発信したのだろう。 ◎「〇〇パン屋終わりです」を見たとき, 私はどんなことを考えたのだろう。	● 「私」の心の葛藤や動きを板書によって可視化することにより, 「私」の心情をより深く考えることができるようにする。 T 具体的にSNSが発信されている状況を実感できるようにする。 T 中心発問に対する自分の思いや考えをまとめ, グループや全体で交流する。	● お店が閉まって困る。 ● 感染防止のために何もやってなかったのか。 ● 取り返しがつかないことをしてしまった。 ● まさか店が閉まるとは思わなかった。	
展開後段	3 これまでの生活をふり振り返り, 本時のねらいとする道徳的価値について考える。 ふり振り返り ○責任ある行動ができるために大切なことは何だろう。	T 自分の思いや考えをまとめ, グループや全体で交流する。	● 先のことを想像すること。 ● まわりの人のことをよく考えること。 ● 自分の行動は適切であるか常に考えること。	
終末	4 今日の学習をふり返って, 本時のめあてに対する自分の思いや考えをまとめる。 まとめ	○他の四コマ漫画も紹介し, 問題解決に向けて, 一人一人の意識を高めることの大切さを伝える。		

第〇回 道徳

めあて 責任ある行動について考えよう

このたびお店を開めることになりました。〇〇パン屋おわりです。

この町から出ていけ やめてしまえ

〇〇パン屋 終わり

〇〇パン屋 終わり

感染防止のために何もやってなかったのだろうか。

お店が閉まって困る。

取り返しがつかないことをしてしまった。

まさか店が開まると思わなかった。

自分が最初なんて言えない。

先のことを想像すること。

まわりの人のことをよく考えること。

自分の行動は適切であるか常に考えること。

大切なことは…

責任ある行動ができるために

この他にも, 小学校・中学校で活用できるICTを活用した授業展開例や, 新型コロナウイルス感染症に係る授業展開例・教材をダウンロードできます。

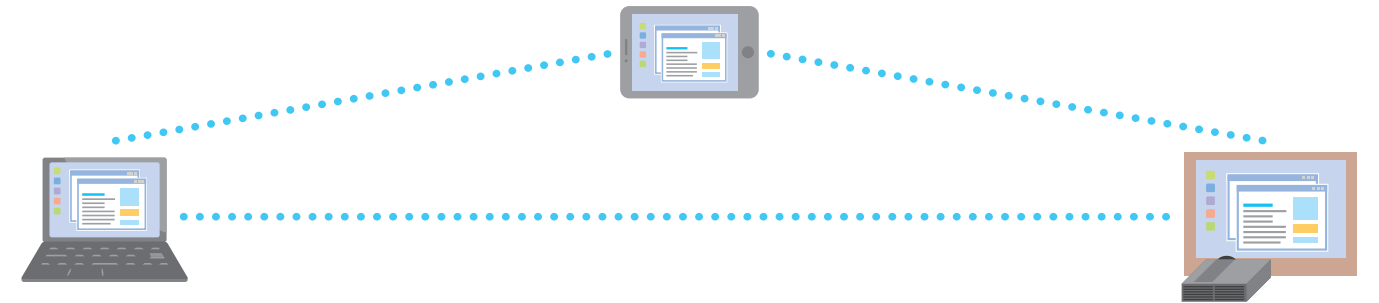
[光京都イントラ](#) ▶ [各課のページへ](#) ▶ [学校指導課](#)



ICTの活用で

「考え, 議論する道徳」を!

ICTを効果的に活用することで,
「考え, 議論する道徳」の授業がより深まります。



教材や画像・映像の提示だけでなく, 端末を活用して子どもたちの思いや考えを整理することにより, より幅広い視点から物事を多面的・多角的に考えたり, 自己の生き方についての考えを深めたりすることができます。

Microsoft 365 (Teams, Forms等)/ロイロノート・スクール

- 1 端末に自分の考えを記入したり, 心情バロメーターなどの思考ツールを用いたりすることで, 自分の考えや思いを可視化し, 対話のきっかけをつくります。
- 2 端末にクラス全員が自分の考えや思いを記入することで, 全員の考えや思いを即時に共有できるため, 対話の時間をより多く確保することができます。
- 3 対話・議論を通して感じたこと, 考えや思いの異なる点などについて, 端末に記録することで, 自分のグループ以外の対話の流れや出された意見などを即時に, また, より幅広く共有できるため, 多面的・多角的に考えを深めることにつながります。
- 4 対話・議論した意見などを踏まえ, 端末で自分の考えや思いの変容を整理・可視化することで, 自分を見つめ直したり, 理解をさらに深めたりすることにつながります。
- 5 端末で一斉に画面共有することで, 似た意見や異なる意見をわかりやすく整理でき, 関連する追発問などにつながりやすくなります。また, 共有や整理の時間が短縮できるため, その後, さらに考えを深める時間やふり振り返り, まとめの時間をより多く確保することができます。

他にも様々な活用方法が考えられます。
次ページに具体的な方法について紹介していますので,
効果的な授業展開への参考にご活用ください!!



GIGA端末で時間や場所の制約を超えた活用の可能性が広がります。

一人一台端末を活用した道徳科の授業

Microsoft 365

Forms編

事前にFormsでアンケートをとって、その結果を提示します。発問に対して「賛成」「反対」などの選択肢を作成しておく、自分の考えを表出させる際に、クラス全体の意見が即時にグラフ化されて可視化できるので、話し合いにつなげやすくなります。



Teams編

PowerPointで、グループごとに記入するページや、付せん(色分けした長方形の図形)を用意しておく、話し合い活動で似た考えを整理してまとめたり、自分以外のグループの意見も可視化しやすいため、効果的です。

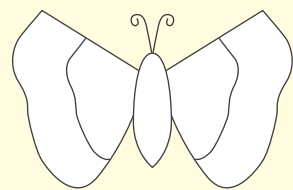


ロイロノート・スクール

教材の葛藤場面について、例えば「あなただったら、正直に言えるか、言えないか」という発問に対して、ロイロノートのカードを活用し、自分の考えを色分けして提出させ、回答結果(人数)を提示し、少数派の意見から話し合いを展開させることができます。



思考ツールと組み合わせる



上記の活動をする際に、「Y字チャート」「バタフライチャート」「ダイヤモンドランキング」などの思考ツールを用いることで、子どもたちは自らの考えや問題点を視覚的に整理したり、同時に共有して作業しながら考えることができます。

これらは、活用の一例です。ICTの活用は多様に考えられるため、一人一人の教師が、積極的に活用することで、良い事例が生まれます。効果的な事例は、教師間で共有することも大切にしてください。



Zoom等でつなぐ道徳科の授業

■他クラスとの交流授業

交流の場面で他クラスとつなぐことで、自クラスの意見だけでなく、他クラスで出た意見についても交流を行うことができるため、より多様な考えと出会い、自らの考えを深める可能性が広がります。授業のどの場面をつなぐのか、授業者同士の事前の打合せを行いましょう。



11:20から10分間で、まず2組から話しますね。

■ゲストティーチャーを招いた授業

ゲストティーチャーを招いて授業を行う際、リモートで出演いただくことができます。お話しいただく内容だけでなく、授業の中のどの場面が登場してもらうのか、事前に綿密な打合せを行うようにしましょう。



■異学年との交流授業

中学校ブロック内の小学校・中学校をつないで授業を行うことができます。教材を工夫して交流を図ることで、異学年の考えに触れ、多様な感じ方や考え方があることを理解するとともに、自分の経験や感じ方、考え方と照らし合わせながら、考えを深めることができます。



各校の授業者による学習指導案の検討や打合せ、授業後の研究協議についても、ZoomやTeams等を活用することで移動時間の負担を軽減することが可能になります。

児童生徒の評価活動・教師の振り返り

道徳ノートやワークシート、学習の記録として残した板書の写真など、クラウドに保存された記録を基に、子どもたち自身にとっては振り返りの材料として活用できるとともに、教師にとっては授業改善や児童生徒の評価に活用することができます。

子どもたちの思いや考えをクラウドに保存することで、子どもたち自身が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることが可能になります。



去年はこんなことを考えてたんだなあ。

板書と子どもたちの書いた記録の管理がしやすいので、学級通信を作成するときにも便利です。



クラウド上でデータ管理ができるため、子どもたちの学習状況を把握し、評価に活用するとともに、教師の授業改善を図る手立てとすることができます。